

令和元年度
事業報告書

目 次

◇ はじめに

令和元年度の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
----------------------------------	---

I 令和元年度事業の概要

1 法人運営

(1) 社協組織運営・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 会議及び研修の開催・・・・・・・・	2
(3) 役職員研修会の開催・・・・・・・・	4
(4) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主計画（第3期）の実行・・・	4
(5) 総合福祉センターの運営管理・・・・・・・・	4
(6) 関係機関及び福祉団体等との連携・・・・・・・・	4
(7) ふれあい福祉のつどいの開催・・・・・・・・	6

II 地域福祉事業

2-1 市民の生活課題の解決

(1) 生活課題を抱える住民の支援・・・・・・・・	7
(2) 権利擁護と福祉サービスの利用支援・・・・・・・・	11
(3) 民生児童委員との連携・・・・・・・・	13
(4) 災害支援と防災への取組み・・・・・・・・	13
(5) 福祉課題の調査研究・・・・・・・・	14

2-2 市民の福祉活動の振興

(1) ボランティア活動の推進と拠点の充実・・・・・・・・	15
(2) 情報発信の強化・・・・・・・・	16
(3) 高齢者福祉の向上・・・・・・・・	17
(4) 障がい者福祉の充実・・・・・・・・	19

III 在宅福祉事業

3-1 高齢者支援と高齢者を支える人づくり

(1) 認知症地域支援事業・・・・・・・・	21
(2) 奨学金返済助成事業・・・・・・・・	21
(3) 口腔ケアプロジェクト・・・・・・・・	21
(4) 人材確保・人材育成・・・・・・・・	21

3-2 介護保険事業の基盤の強化

(1) 介護保険事業の経営基盤強化の取組・・・・・・・・	22
(2) 介護保険事業の活動基盤等強化の取組・・・・・・・・	23

3-3 介護保険事業所関係

(1) 居宅介護支援事業所・・・・・・・・	26
(2) 訪問介護事業所・・・・・・・・	28
(3) 訪問看護事業所・・・・・・・・	29
(4) 通所介護事業所・・・・・・・・	29
(5) 短期入所生活介護事業所・・・・・・・・	32

参考 共同募金事業関係・・・・・・・・	33
---------------------	----

◇ はじめに

令和元年度の概要

「地域共生社会の実現」に向け、安心して暮らせるとおのを築くため「福祉でとおのづくり」を基本方針とし、「自立、連携、政策」を推進するため次の事業に取り組みました。

1 法人全体「地域福祉と介護保険事業を両輪とした経営の安定化」

平成 27 年度を初年度とする 5 年間の経営改善計画に取り組んできましたが、最終年度となる今年度において、当期資金収支差額△10,631,949 円、当期活動増減差額△20,290,933 円と大幅な赤字となりました。市の特別支援 10,000 千円については、市の理解のもと 4 年目も打ち切られることなく延長されましたが、これまで地域福祉の財源不足を、在宅福祉の利益に求めるという財務構造が成り立たない状況になってきており、社協としての持続可能な経営のあり方について、抜本的な見直しを急がなければならない状況となりました。

2 総務企画課 「経営改善計画の実行」

経営改善計画は今年度が最終年度であり、5 年以内に黒字化することを目指して進めてきましたが、最終年度では赤字運営となりました。主な要因としては介護保険事業の利用者の減少に伴う大きな収益の減少に伴うものでありますが、この赤字運営の結果を法人全体として人件費、経費節減、利用者増に向けて細かく分析し、見直検討しながら第 2 期経営改善計画を策定していきます。

今年度は役員改選の年であり、規定に基づき選任しました。また、新役員の視察研修として、青森県藤崎町社会福祉協議会の経営基盤強化について研修を行いました。

組織強化アクションプランに基づき、人材育成を目的に、資格手当の改善に取り組みました。また、職員研修及び資格取得の促進を図り、研修助成の充実に取り組みました。

〔推進項目〕

(1) 持続可能な経営基盤の強化及び組織運営の充実

①コンプライアンス及びガバナンスの徹底（役員改選への対応）

②組織強化アクションプランの取組

(2) 福祉人材の養成と確保（奨学金返済助成事業）

(3) 福祉の C S V（共通的価値の創造）に向けた他法人との連携

(4) 第 2 回ふれあい福祉のつどいの開催

3 地域福祉 「福祉でとおのづくり」

3 年目となった生活支援チームが連携し、持ち込まれる多様な相談に対して適切に対応するため、社協内での包括的な体制づくりを行いました。

また、住民に身近な相談窓口として地区センターに配置した「丸ごと相談員」やふれあいホームに常駐する在宅介護支援センター相談員が生活支援コーディネーターとして、各町のまちづくりワークショップや、小地域での「支え合いマップ」を活用した住民懇談会など地域住民と共に地域の福祉について考える取組を進めました。

〔推進項目〕

(1) 地域の支え合い再生（地域づくりと福祉づくりの融合）

在宅介護支援センター職員の地区センターへの配置（モデル事業）の検討

(2) 包括的な支援体制の強化（相談のゼネラル化の検討）

(3) 地域支え合いチャレンジ応援モデル事業

ニーズ調査及び課題解決に向けた実証実験支援事業

(4) 農福連携の関係団体連携による実践

4 在宅福祉 「介護・福祉サービスの基盤強化」

介護保険事業の健全な経営を目指し事業を進めてきましたが、サービス活動収益は543,990千円に留まり前年度比較△42,857千円減となりました。

主な要因として、小友を除く3カ所のふれあいホーム事業所、ショートステイ事業所の減収が大きく、特にふれあいホーム上郷の利用者減少が著しく前年度比で9,623千円の収益減少となりました。令和2年度は事業所の運営形態を適正規模に改善し、収支バランスの取れた運営を実施します。

〔推進項目〕

- (1) 口腔ケアプロジェクト
- (2) 認知症地域支援
- (3) 介護保険事業の安定経営
- (4) 介護職員の処遇改善

Ⅱ 法人運営の概要

1 法人運営

事業名	事業計画（概要）	実施状況
（１）社協の組織運営		
法人運営	① 組織体制 ② 組織・事業運営の適正化 ③ 経営状況の把握 ④ 遠野健康福祉の里との連携 定例会議を開催 ⑤ 苦情受付体制	① 組織体制 3課1福祉センター11事業所で運営した。宮守福祉センターに事務職1名を継続配置し、宮守地区の地域福祉の拠点とした。 ② 組織・事業運営の適正化 法人の公益性の徹底や経営情報の適切な開示、組織のガバナンスの強化に努めた。 ③ 経営状況の把握 四半期毎の経営状況を分析し、事業の効率化に努めた。 ④ 遠野健康福祉の里との連携 毎月定例会議を開催し、情報共有及び検討課題の調整を図った。 ⑤ 苦情受付体制 当法人が実施する事業の苦情について、適正に対応するため第三者委員を配置した。
（２）会議及び研修等の開催		
会議の運営	① 事務局会議 ② 三役会	① 事務局会議 毎月三役会議前に開催し、諸課題等について協議した。 ② 三役会議 毎月開催し、経営状況及び事業の進捗状況について協議した。

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況																											
	③ 理事会	③理事会（6回） <table><tr><td>理事会</td><td>開催月日</td><td>出席者・内容</td></tr><tr><td rowspan="2">第1回</td><td rowspan="2">5月28日</td><td>理事11名、監事3名</td></tr><tr><td>議案1号～7号</td></tr><tr><td rowspan="2">第2回</td><td rowspan="2">6月13日</td><td>理事10名、監事2名</td></tr><tr><td>議案第8号</td></tr><tr><td rowspan="2">第3回</td><td rowspan="2">9月18日</td><td>理事11名、監事2名</td></tr><tr><td>議案9号～11号</td></tr><tr><td rowspan="2">第4回</td><td rowspan="2">12月17日</td><td>理事9名、監事1名</td></tr><tr><td>議案12号～15号</td></tr><tr><td rowspan="2">第5回</td><td rowspan="2">12月27日</td><td>理事10名、監事2名</td></tr><tr><td>議案16号</td></tr><tr><td rowspan="2">第6回</td><td rowspan="2">3月17日</td><td>理事8名、監事2名</td></tr><tr><td>議案17号～21号</td></tr></table>	理事会	開催月日	出席者・内容	第1回	5月28日	理事11名、監事3名	議案1号～7号	第2回	6月13日	理事10名、監事2名	議案第8号	第3回	9月18日	理事11名、監事2名	議案9号～11号	第4回	12月17日	理事9名、監事1名	議案12号～15号	第5回	12月27日	理事10名、監事2名	議案16号	第6回	3月17日	理事8名、監事2名	議案17号～21号
	理事会	開催月日	出席者・内容																										
	第1回	5月28日	理事11名、監事3名																										
			議案1号～7号																										
	第2回	6月13日	理事10名、監事2名																										
			議案第8号																										
	第3回	9月18日	理事11名、監事2名																										
			議案9号～11号																										
	第4回	12月17日	理事9名、監事1名																										
			議案12号～15号																										
	第5回	12月27日	理事10名、監事2名																										
			議案16号																										
	第6回	3月17日	理事8名、監事2名																										
			議案17号～21号																										
	④ 評議員会	④ 評議員会（4回） <table><tr><td>評議員会</td><td>開催月日</td><td>出席者・内容</td></tr><tr><td rowspan="2">定 時</td><td rowspan="2">6月13日</td><td>評議員22名、役員4名</td></tr><tr><td>議案1号～4号</td></tr><tr><td rowspan="2">第2回</td><td rowspan="2">9月26日</td><td>評議員20名、役員3名</td></tr><tr><td>議案5号</td></tr><tr><td rowspan="2">第3回</td><td rowspan="2">12月24日</td><td>評議員19名、役員2名</td></tr><tr><td>議案6号～7号</td></tr><tr><td rowspan="2">第4回</td><td rowspan="2">3月26日</td><td>評議員21名、役員2名</td></tr><tr><td>議案8号～9号</td></tr></table>	評議員会	開催月日	出席者・内容	定 時	6月13日	評議員22名、役員4名	議案1号～4号	第2回	9月26日	評議員20名、役員3名	議案5号	第3回	12月24日	評議員19名、役員2名	議案6号～7号	第4回	3月26日	評議員21名、役員2名	議案8号～9号								
	評議員会	開催月日	出席者・内容																										
	定 時	6月13日	評議員22名、役員4名																										
			議案1号～4号																										
	第2回	9月26日	評議員20名、役員3名																										
			議案5号																										
	第3回	12月24日	評議員19名、役員2名																										
			議案6号～7号																										
	第4回	3月26日	評議員21名、役員2名																										
			議案8号～9号																										
⑤ 監査	⑤ 監査 <table><tr><td>監査会</td><td>開催月日</td><td>内 容</td></tr><tr><td>第1回</td><td>5月16日</td><td>平成30年度決算監査</td></tr><tr><td>第2回</td><td>8月27日</td><td>4月～6月分出納監査</td></tr><tr><td>第3回</td><td>11月26日</td><td>7月～9月分出納監査</td></tr><tr><td>第4回</td><td>2月14日</td><td>10月～12月分出納監査</td></tr></table>	監査会	開催月日	内 容	第1回	5月16日	平成30年度決算監査	第2回	8月27日	4月～6月分出納監査	第3回	11月26日	7月～9月分出納監査	第4回	2月14日	10月～12月分出納監査													
監査会	開催月日	内 容																											
第1回	5月16日	平成30年度決算監査																											
第2回	8月27日	4月～6月分出納監査																											
第3回	11月26日	7月～9月分出納監査																											
第4回	2月14日	10月～12月分出納監査																											
⑥ 課長・所長会議	⑥ 定例課長・所長会議 毎月定例で開催し、経営及び事業実績の共通認識及び諸課題の協議を行った。また、新型コロナウイルスに関する臨時開催を2回開催した。 総開催数：14回																												
各種委員会の開催	各種委員会の開催 <table><tr><td>名 称</td><td>開催数</td></tr><tr><td>経営・資金管理委員会</td><td>2</td></tr><tr><td>福祉の森管理委員会</td><td>0</td></tr><tr><td>ボランティア活動センター運営委員会</td><td>1</td></tr><tr><td>生活福祉資金貸付調査委員会</td><td>1</td></tr><tr><td>心配ごと相談所運営委員会</td><td>2</td></tr><tr><td>成年後見制度法人後見事業運営委員会</td><td>2</td></tr><tr><td>評議員選任・解任委員会</td><td>3</td></tr><tr><td>役員推薦委員会</td><td>3</td></tr></table>	名 称	開催数	経営・資金管理委員会	2	福祉の森管理委員会	0	ボランティア活動センター運営委員会	1	生活福祉資金貸付調査委員会	1	心配ごと相談所運営委員会	2	成年後見制度法人後見事業運営委員会	2	評議員選任・解任委員会	3	役員推薦委員会	3										
名 称	開催数																												
経営・資金管理委員会	2																												
福祉の森管理委員会	0																												
ボランティア活動センター運営委員会	1																												
生活福祉資金貸付調査委員会	1																												
心配ごと相談所運営委員会	2																												
成年後見制度法人後見事業運営委員会	2																												
評議員選任・解任委員会	3																												
役員推薦委員会	3																												

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況									
（３）役職員研修会の開催											
役員研修の開催	① 県社協主催等の役員セミナーへの参加 ② 新役員による先進地視察研修の実施	① 地域福祉活動先進地視察として、常務理事が参加し、高知県の南国市社会福祉協議会と大豊町社会福祉協議会において、小規模多機能拠点の実施状況や相談支援・連携、経営基盤強化について研修した。 ② 役員改選に伴い、先進地視察として理事・監事１１名で藤崎町社会福祉協議会の経営基盤強化について視察した。									
（４）次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主計画(第３期)の実行											
計画の実践	仕事と子育てが両立できる雇用環境に取り組む。 ① 目標１ 年次有給休暇の取得推進 ② 目標２ 毎週水曜日ノー残業デー ③ 目標３ 妊娠・育児中の職員が安心して働ける環境	働き方改革の推進に向け下記の取組を行った。 ① 年次有給休暇（５日以上）の計画的な取得取得率 95.4% ② ノー残業デー（水曜日）に会議及び研修を設定しない努力をした。 ③ 今年度の対象職員は４名で全員育児休暇を取得した。									
（５）総合福祉センターの管理運営											
管理運営	遠野市補助金による管理運営	社会福祉活動の拠点施設及びコミュニティー施設として、効果的な活用を推進した。 今年度は大口営利団体（展示会等）の利用が減少したところにより利用料は減額となった。 施設整備として、遠野市の補助金を活用し受変電設備の更新工事を行った。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和元年度</th><th>前年度対比</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用料収入</td><td>1,593,846 円</td><td>△651,131 円</td></tr> <tr> <td>利用者数</td><td>25,602 人</td><td>5,576 人増</td></tr> </tbody> </table>		令和元年度	前年度対比	利用料収入	1,593,846 円	△651,131 円	利用者数	25,602 人	5,576 人増
	令和元年度	前年度対比									
利用料収入	1,593,846 円	△651,131 円									
利用者数	25,602 人	5,576 人増									
（６）関係機関及び福祉団体等との連携											
社協支部及び区長会、地区センターとの連携	【目標】 6,077 千円 社協会費の納入及び共同募金への協力 社協会費	【実績】 5,991 千円（8,560 世帯） 社協会費は、支部及び区長、班長、地区センターの協力のもと各世帯から納入いただいた。 共同募金は、10 月から 12 月まで赤い羽根募金運動、12 月に歳末たすけあい募金にそれぞれ協力をいただき共同募金委員会で取りまとめた。									

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況																																																				
社協支部及び区長 会、地区センター との連携	① 支部運営費・地域福祉活動費の確保 ア 社協会費・共同募金配分による活動費 助成 【予算】 4,176 千円	① 支部運営費・地域福祉活動費の確保 ア 社協会費・共同募金配分による活動費助成 【決算】 4,115 千円 （単位：円） <table><tr><th>支部名</th><th>社協会費</th><th>共募</th><th>合計 交付額</th></tr><tr><td>遠 野</td><td>847,400</td><td>191,000</td><td>1,038,400</td></tr><tr><td>綾 織</td><td>201,500</td><td>57,000</td><td>258,500</td></tr><tr><td>小 友</td><td>165,800</td><td>112,000</td><td>277,800</td></tr><tr><td>附馬牛</td><td>167,300</td><td>92,000</td><td>259,300</td></tr><tr><td>松 崎</td><td>446,600</td><td>110,000</td><td>556,600</td></tr><tr><td>土 淵</td><td>235,100</td><td>100,000</td><td>335,100</td></tr><tr><td>青 笹</td><td>242,000</td><td>126,000</td><td>368,000</td></tr><tr><td>上 郷</td><td>305,000</td><td>59,000</td><td>364,000</td></tr><tr><td>宮 守</td><td>245,900</td><td>57,000</td><td>302,900</td></tr><tr><td>達曽部</td><td>154,700</td><td>30,000</td><td>184,700</td></tr><tr><td>鱒 沢</td><td>143,000</td><td>27,000</td><td>170,000</td></tr><tr><td>全体合計</td><td>3,154,300</td><td>961,000</td><td>4,115,300</td></tr></table>	支部名	社協会費	共募	合計 交付額	遠 野	847,400	191,000	1,038,400	綾 織	201,500	57,000	258,500	小 友	165,800	112,000	277,800	附馬牛	167,300	92,000	259,300	松 崎	446,600	110,000	556,600	土 淵	235,100	100,000	335,100	青 笹	242,000	126,000	368,000	上 郷	305,000	59,000	364,000	宮 守	245,900	57,000	302,900	達曽部	154,700	30,000	184,700	鱒 沢	143,000	27,000	170,000	全体合計	3,154,300	961,000	4,115,300
	支部名	社協会費	共募	合計 交付額																																																		
	遠 野	847,400	191,000	1,038,400																																																		
	綾 織	201,500	57,000	258,500																																																		
小 友	165,800	112,000	277,800																																																			
附馬牛	167,300	92,000	259,300																																																			
松 崎	446,600	110,000	556,600																																																			
土 淵	235,100	100,000	335,100																																																			
青 笹	242,000	126,000	368,000																																																			
上 郷	305,000	59,000	364,000																																																			
宮 守	245,900	57,000	302,900																																																			
達曽部	154,700	30,000	184,700																																																			
鱒 沢	143,000	27,000	170,000																																																			
全体合計	3,154,300	961,000	4,115,300																																																			
	イ 一人暮らし高齢者交流事業 【予算】 720 千円	イ 一人暮らし高齢者交流会実績 【決算】 631 千円 （単位：円） <table><tr><th>支部名</th><th>実施日</th><th>参加者</th><th>前年対比</th></tr><tr><td>遠 野</td><td>区ごと</td><td>168 人</td><td>8</td></tr><tr><td>綾 織</td><td>11 月 12 日</td><td>31 人</td><td>1</td></tr><tr><td>小 友</td><td>10 月 30 日</td><td>39 人</td><td>0</td></tr><tr><td>附馬牛</td><td>6 月 27 日</td><td>15 人</td><td>△1</td></tr><tr><td>松 崎</td><td>1 月 10 日</td><td>30 人</td><td>△6</td></tr><tr><td>土 淵</td><td>11 月 16 日</td><td>17 人</td><td>△2</td></tr><tr><td>青 笹</td><td>9 月 23 日</td><td>16 人</td><td>△11</td></tr><tr><td>上 郷</td><td>10 月 9 日</td><td>47 人</td><td>0</td></tr><tr><td>宮 守</td><td>9 月 18 日</td><td>22 人</td><td>△6</td></tr><tr><td>達曽部</td><td>11 月 8 日</td><td>26 人</td><td>1</td></tr><tr><td>鱒 沢</td><td>10 月 18 日</td><td>10 人</td><td>2</td></tr><tr><td>全体合計</td><td></td><td>421 人</td><td>△14</td></tr></table>	支部名	実施日	参加者	前年対比	遠 野	区ごと	168 人	8	綾 織	11 月 12 日	31 人	1	小 友	10 月 30 日	39 人	0	附馬牛	6 月 27 日	15 人	△1	松 崎	1 月 10 日	30 人	△6	土 淵	11 月 16 日	17 人	△2	青 笹	9 月 23 日	16 人	△11	上 郷	10 月 9 日	47 人	0	宮 守	9 月 18 日	22 人	△6	達曽部	11 月 8 日	26 人	1	鱒 沢	10 月 18 日	10 人	2	全体合計		421 人	△14
支部名	実施日	参加者	前年対比																																																			
遠 野	区ごと	168 人	8																																																			
綾 織	11 月 12 日	31 人	1																																																			
小 友	10 月 30 日	39 人	0																																																			
附馬牛	6 月 27 日	15 人	△1																																																			
松 崎	1 月 10 日	30 人	△6																																																			
土 淵	11 月 16 日	17 人	△2																																																			
青 笹	9 月 23 日	16 人	△11																																																			
上 郷	10 月 9 日	47 人	0																																																			
宮 守	9 月 18 日	22 人	△6																																																			
達曽部	11 月 8 日	26 人	1																																																			
鱒 沢	10 月 18 日	10 人	2																																																			
全体合計		421 人	△14																																																			
	ウ 地域支え合いチャレンジ応援モデル 事業 【予算】 500 千円	ウ 地域支え合いチャレンジ応援モデル事業 【決算】 193 千円 地域課題解決に向けた取り組みを後押しする ため社協支部への助成事業（3 年目） 地域支え合いチャレンジ応援モデル事業実績 <table><tr><th>支部</th><th>事業名（事業内容）</th><th>助 成 額</th></tr><tr><td>小友</td><td>「ありがとう訪問」事業 町内高齢者宅に箱ティ ッシュ、灯油を配達し、冬 期間の見守りとニーズ調 査を実施。</td><td>93,400 円</td></tr><tr><td>土淵</td><td>「地域で支える福祉のた めのアンケート調査」事業 全世帯へアンケート調査。</td><td>100,000 円</td></tr></table>	支部	事業名（事業内容）	助 成 額	小友	「ありがとう訪問」事業 町内高齢者宅に箱ティ ッシュ、灯油を配達し、冬 期間の見守りとニーズ調 査を実施。	93,400 円	土淵	「地域で支える福祉のた めのアンケート調査」事業 全世帯へアンケート調査。	100,000 円																																											
支部	事業名（事業内容）	助 成 額																																																				
小友	「ありがとう訪問」事業 町内高齢者宅に箱ティ ッシュ、灯油を配達し、冬 期間の見守りとニーズ調 査を実施。	93,400 円																																																				
土淵	「地域で支える福祉のた めのアンケート調査」事業 全世帯へアンケート調査。	100,000 円																																																				
	② 本部・支部・地区センター等との連携 強化・支部長等会議の開催	② 支部長・事務局長・地区センター所長会議の 開催 ア 第1回 令和元年6月20日 13：30～ 会 場 遠野市総合福祉センター「会議室」 出席者 30名（欠席3名） 内 容 ・平成30年度実績報告 ・令和元年度の取り組み																																																				

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況
		イ 第2回 令和2年2月25日 15:30～ 会 場 遠野健康福祉の里 研修ホール 出席者 31名（欠席2名） 内 容・社協会費・共同募金運動について ・令和2年度事業計画（素案） ・取組報告（まるごと相談員） ・各支部報告
福祉基金運用益による福祉活動の助成	【予算】7,717千円 ① 社協事業への活用 ② 民間福祉団体の支援 ・活動費助成	【決算】7,729千円 ① 社協事業・運営費への活用 ア 10事業（ふれあい福祉の集い等）及び運営費 7,029千円 ② 民間団体の支援 ア 活動助成 ボランティア7団体 700千円
福祉バザーへの協力	【予算】140千円 実行委員会で実施する福祉バザーへの協力	【決算】118千円 ① 第14回遠野市福祉バザー実行委員会の開催 ア 第1回：令和元年6月21日 委員7名中5名出席、事務局4名出席 協議事項 （ア）実行委員長の選出について （イ）開催要項について （ウ）会場レイアウトについて （エ）イベント・企画について （オ）今後のスケジュールについて （カ）各団体の出展内容について イ 第2回：令和元年10月24日 委員7名中4名出席、事務局3名出席 報告事項 （ア）バザー収支精算報告について （イ）実施内容について （ウ）各団体からの報告 ② 第14回遠野市福祉バザーの実施 ア 遠野会場 令和元年9月28日 場所：遠野市総合福祉センター イ 宮守会場 令和元年10月14日 場所：宮守総合支所前特設会場 ウ バザー売上総額：939,926円 うち、154,644円を赤い羽根共同募金へ寄付。
（7）ふれあい福祉のつどいの開催		
第2回ふれあい福祉のつどいの開催	【予算】729千円 福祉関係者、市民が一堂に会し、地域福祉の推進を確立するため日頃の活動の発表や講演会等を通じて、お互いの活動を理解し合い、福祉について一緒に考え、学び、交流を深め、地域福祉を推進することを目的に開催する。	【決算】448千円 第2回ふれあい福祉の集い 日時：11月16日（土） 18時開演 会場：あえりあ遠野 交流ホール 第1部 講演「住み慣れた地域で生きていく」 講師：ふじ内科クリニック 内藤いづみ医師 第2部 特別対談 内藤いづみ医師 × 俳優 近藤 正臣氏 「つながって、支え合って、 認め合う関係づくりへ」 福祉関係者など市民、約310名が講演と特別対談を聴き、「生と死」「最後までその人らしい暮らし方」について考える時間となり参加者から大変好評を得た。

Ⅱ 地域福祉事業

2-1 市民の生活課題の解決

事業名	事業計画(概要)	実施状況																																		
(1) 生活課題を抱える住民の支援																																				
相談支援関係	① 「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業(遠野市多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業)(遠野市受託事業) 【予算】15,270 千円 ア 住民に身近な相談窓口を設置	① 「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業 【決算額】14,334 千円 ア 綾織、土淵、青笹の各地区センターに「丸ごと相談員」を1名配置し、個別の相談支援を基軸に地域関係者や各関係機関との連携体制の構築に取り組んだ。 【相談実績(延べ)】 <table><tr><th>介護</th><th>障害</th><th>子育て</th><th>経済困窮</th><th>その他</th></tr><tr><td>376 件 (33.4%)</td><td>86 件 (7.6%)</td><td>4 件 (0.3%)</td><td>151 件 (13.4%)</td><td>510 件 (45.3%)</td></tr></table> 【連携先(延べ)】 <table><tr><th>民生委員</th><th>近隣住民</th><th>在介・SC</th><th>地区センター</th></tr><tr><td>359 回 (12.5%)</td><td>356 回 (12.4%)</td><td>342 回 (11.9%)</td><td>172 回 (8.8%)</td></tr><tr><th>保健師</th><th>困窮窓口</th><th>区長</th><th>ケアマネジャー</th></tr><tr><td>161 回 (5.6%)</td><td>141 回 (4.9%)</td><td>140 回 (4.9%)</td><td>140 回 (4.9%)</td></tr><tr><th>包括センター</th><th>市社協</th><th>高齢事業所</th><th>社協・自治会</th></tr><tr><td>138 回 (4.8%)</td><td>129 回 (3.5%)</td><td>82 回 (2.8%)</td><td>44 回 (1.5%)</td></tr></table> 【その他の連携先】: 医療機関、学校関係、保育園、市障がい福祉係、市生活福祉係、警察、市社協在宅福祉課、相談支援事業所、他	介護	障害	子育て	経済困窮	その他	376 件 (33.4%)	86 件 (7.6%)	4 件 (0.3%)	151 件 (13.4%)	510 件 (45.3%)	民生委員	近隣住民	在介・SC	地区センター	359 回 (12.5%)	356 回 (12.4%)	342 回 (11.9%)	172 回 (8.8%)	保健師	困窮窓口	区長	ケアマネジャー	161 回 (5.6%)	141 回 (4.9%)	140 回 (4.9%)	140 回 (4.9%)	包括センター	市社協	高齢事業所	社協・自治会	138 回 (4.8%)	129 回 (3.5%)	82 回 (2.8%)	44 回 (1.5%)
	介護	障害	子育て	経済困窮	その他																															
	376 件 (33.4%)	86 件 (7.6%)	4 件 (0.3%)	151 件 (13.4%)	510 件 (45.3%)																															
民生委員	近隣住民	在介・SC	地区センター																																	
359 回 (12.5%)	356 回 (12.4%)	342 回 (11.9%)	172 回 (8.8%)																																	
保健師	困窮窓口	区長	ケアマネジャー																																	
161 回 (5.6%)	141 回 (4.9%)	140 回 (4.9%)	140 回 (4.9%)																																	
包括センター	市社協	高齢事業所	社協・自治会																																	
138 回 (4.8%)	129 回 (3.5%)	82 回 (2.8%)	44 回 (1.5%)																																	
イ 地区センター・支部社協・地連協、自治会や地域住民による取り組みを支援し「福祉でととのづくり」を推進	イ 住民主体の話し合いの場や、集いの場の支援 地区公民館等を会場に、支え合いマップづくり及び小地域福祉懇談会を展開した。 〈綾織〉: 3ヵ所 住民29名 〈土淵〉: 5ヵ所 住民27名 〈青笹〉: 4ヵ所 住民22名 〈小友(鱒沢地区)〉: 1ヵ所 住民14名 〈上郷〉: 1ヵ所 住民5名 ウ 住民主体の課題解決の取り組み支援 〈綾織〉移動販売拡充マップ作成支援 他 〈土淵〉社協支部アンケート調査支援 他 〈青笹〉子ども食堂立ち上げ支援 他 〈その他〉住民向けセミナー・勉強会の開催/各種地区活動との協働/サロン活動の支援/他																																			
	② 在宅介護支援センター相談員の地区センター配置の検討	② 在宅介護支援センター相談員の地区センター配置について内部検討を行い、行政担当課の方針が決定すれば配置できるように準備を進めたが、年度内の実施には至らなかった。																																		

事業名	事業計画(概要)	実施状況																								
	③ 生活困窮者自立促進支援事業 (遠野市受託事業) 【予算】14,503 千円 生活困窮者や困窮に陥る恐れのある人を対象とし、関係機関や関連事業との連携を含めた支援を包括的に実施する。 【目標値】 新規相談件数 80 件 支援対象数 1,200 件 自立プラン作成数 40 件 家計プラン作成数 10 件 就労支援対象者数 30 件 就労・増収者数 20 件 フリースペース利用 延 50 件	③ 生活困窮者自立促進支援事業 【決算】11,392 千円 専任の相談支援員 3 名を健康福祉の里に配置 ア 相談支援実績 単位：件 <table><tr><th></th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>増減</th></tr><tr><td>新 規</td><td>63</td><td>73</td><td>△10</td></tr><tr><td>継 続</td><td>1,051</td><td>1,579</td><td>△528</td></tr><tr><td>連携対応</td><td>1,007</td><td>1,363</td><td>△356</td></tr><tr><td>プラン作成</td><td>19</td><td>26</td><td>△7</td></tr><tr><td>終 結</td><td>2</td><td>9</td><td>△7</td></tr></table> 支援件数の減少について、来庁よりも訪問相談対応の割合が増加し、1 件ごとの対応時間が増加したことが原因と思われる。 支援プランは、関係機関につないだり、情報提供のみの支援の際には作成しておらず目標値届かなかった。 イ 地域の資源開発とネットワークづくり (ア) 仕事（無料職業紹介事業） 求人者（団体等） 2 件 求職者 1 件 就労マッチング 2 件 (イ) 居場所づくり（フリースペース） ひきこもり若者等の支援のため、ちょボラ内に「フリースペースふらっと」を開設。若者の居場所づくりを行った。 開設回数 42 回 利用者数 延 101 名 利 用 者 5 名 家 族 等 2 名 (ウ) その他 i IWATE あんしんサポート支援事業 ※1 支援件数 2 件（松寿会、ともし会） ii フードバンク支援事業 NPO 法人フードバンク岩手と連携し困窮者への食糧支援を実施した。 支援世帯 6 世帯 支援回数 10 回 市民から寄付された食糧をフードバンク岩手に届けた。 寄付受付 60 件（530kg 分） iii フードバンクこども支援事業 申請書配布 30 件 申 請 件 数 17 件		元年度	30 年度	増減	新 規	63	73	△10	継 続	1,051	1,579	△528	連携対応	1,007	1,363	△356	プラン作成	19	26	△7	終 結	2	9	△7
	元年度	30 年度	増減																							
新 規	63	73	△10																							
継 続	1,051	1,579	△528																							
連携対応	1,007	1,363	△356																							
プラン作成	19	26	△7																							
終 結	2	9	△7																							

事業名	事業計画(概要)	実施状況												
		※1 IWATE あんしんサポート事業 社会福祉法人の地域貢献活動として暮らしの困りごとを抱えた方の自立を支援する事業で、緊急の場合には5万円を限度とした現物支給ができる。												
	④ 心配ごと相談所の運営（自主事業） 【予算】290千円 ア 相談員の配置 （ア）専任の相談員 遠野地区 月2回（第1、3金） 宮守地区 月1回（第1水曜日） （イ）弁護士による無料相談 遠野地区 奇数月の第3金曜日 宮守地区 偶数月の第3水曜日 （ウ）職員による相談受付 随時 イ 心配ごと相談所運営委員会開催	④ 心配ごと相談所の運営 【決算】188千円 ア 相談実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>元年度</th><th>30年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設日数</td><td>36日</td><td>36日</td></tr> <tr> <td>相談件数 (弁護士)</td><td>64件 (弁護士42件)</td><td>95件 (弁護士58件)</td></tr> <tr> <td>相談内容</td><td> 生計3 職業3 住宅1 家族5 離婚3 精神衛生1 人権・法律3 財産24 事故3 心身障害2 老人福祉1 その他15 </td><td> 生計5 職業6 住宅6 家族14 離婚1 医療2 精神衛生1 人権・法律2 財産33 事故6 教育・青少年1 心身障害2 老人福祉3 苦情5 その他8 </td></tr> </tbody> </table> イ 心配ごと相談所運営委員会の開催 第1回運営委員会 実施日：令和元年7月30日 内 容：H30年度相談実績 R元年運営方針について 第2回運営委員会 実施日：令和2年3月19日 内 容：R元年相談実績（見込） R2年運営方針について		元年度	30年度	開設日数	36日	36日	相談件数 (弁護士)	64件 (弁護士42件)	95件 (弁護士58件)	相談内容	生計3 職業3 住宅1 家族5 離婚3 精神衛生1 人権・法律3 財産24 事故3 心身障害2 老人福祉1 その他15	生計5 職業6 住宅6 家族14 離婚1 医療2 精神衛生1 人権・法律2 財産33 事故6 教育・青少年1 心身障害2 老人福祉3 苦情5 その他8
	元年度	30年度												
開設日数	36日	36日												
相談件数 (弁護士)	64件 (弁護士42件)	95件 (弁護士58件)												
相談内容	生計3 職業3 住宅1 家族5 離婚3 精神衛生1 人権・法律3 財産24 事故3 心身障害2 老人福祉1 その他15	生計5 職業6 住宅6 家族14 離婚1 医療2 精神衛生1 人権・法律2 財産33 事故6 教育・青少年1 心身障害2 老人福祉3 苦情5 その他8												
福祉資金貸付関係	① 生活福祉資金貸付事業 （岩手県社協受託事業） 【予算】3,572千円 低所得者、障がい者及び高齢者に対し生活に必要な資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立、生活意欲の助長、社会参加の促進を図る。	① 生活福祉資金貸付事業 【決算】3,277千円 ア 貸付相談 <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談実人数</th><th>延べ件数</th><th>貸付実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41名</td><td>237件</td><td>17件</td></tr> </tbody> </table>	相談実人数	延べ件数	貸付実績	41名	237件	17件						
相談実人数	延べ件数	貸付実績												
41名	237件	17件												

事業名	事業計画(概要)	実施状況																																	
		イ 貸付実績（貸付総額 22,895 千円） 〔教育支援資金〕 <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>R 元</td><td>11 件</td><td>17,925 千円</td></tr><tr><td>H30</td><td>9 件</td><td>28,654 千円</td></tr></table> 高校 5 件、短大 2 件、専門学校 2 件、大学 2 件 貸付件数は増加したが、高校、短大、日本学生 支援機構奨学金受給までのつなぎ貸付（1 年）が多 く貸付金額は減少した。 〔福祉費〕 <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>R 元</td><td>4 件</td><td>4,820 千円</td></tr><tr><td>H30</td><td>2 件</td><td>461 千円</td></tr></table> 2 件は障がい者用自動車購入費 2 件は技能習得費（実質は教育費） 〔緊急小口〕 <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>R 元</td><td>2 件</td><td>150 千円</td></tr><tr><td>H30</td><td>1 件</td><td>59 千円</td></tr></table> 2 件とも給料、年金支給までのつなぎ ※コロナウイルス感染症の影響による減収等に対 応する特例貸付の受付が 3 月 25 日から開始した。 ウ 債権管理実績（異動・督促等） <table><tr><th>対応人数</th><th>延べ件数</th><th>償還完了件数</th></tr><tr><td>180 名</td><td>257 件</td><td>19 件</td></tr></table> エ 滞納世帯への償還指導 県社協と連携し償還面接指導を実施 実施日：令和元年 7 月 10 日 対 象：22 件 面接実績：6 件	年度	件数	金額	R 元	11 件	17,925 千円	H30	9 件	28,654 千円	年度	件数	金額	R 元	4 件	4,820 千円	H30	2 件	461 千円	年度	件数	金額	R 元	2 件	150 千円	H30	1 件	59 千円	対応人数	延べ件数	償還完了件数	180 名	257 件	19 件
年度	件数	金額																																	
R 元	11 件	17,925 千円																																	
H30	9 件	28,654 千円																																	
年度	件数	金額																																	
R 元	4 件	4,820 千円																																	
H30	2 件	461 千円																																	
年度	件数	金額																																	
R 元	2 件	150 千円																																	
H30	1 件	59 千円																																	
対応人数	延べ件数	償還完了件数																																	
180 名	257 件	19 件																																	
② たすけあい更生資金貸付事業(自主事業) 【予算】500 千円		② たすけあい更生資金貸付事業 【決算】317 千円 ア 貸付実績 <table><tr><th>年度</th><th>相談件数</th><th>貸付件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>R 元</td><td>17 件</td><td>4 件</td><td>200 千円</td></tr><tr><td>H30</td><td>19 件</td><td>7 件</td><td>350 千円</td></tr></table> イ 償還実績 <table><tr><th rowspan="2">年 度</th><th rowspan="2">償還 金額</th><th rowspan="2">償還 完了 件数</th><th colspan="2">年度末貸付残</th></tr><tr><th>件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>R 元</td><td>317 千円</td><td>9 件</td><td>14 件</td><td>492 千円</td></tr><tr><td>H30</td><td>485 千円</td><td>11 件</td><td>19 件</td><td>609 千円</td></tr></table>	年度	相談件数	貸付件数	金額	R 元	17 件	4 件	200 千円	H30	19 件	7 件	350 千円	年 度	償還 金額	償還 完了 件数	年度末貸付残		件数	金額	R 元	317 千円	9 件	14 件	492 千円	H30	485 千円	11 件	19 件	609 千円				
年度	相談件数	貸付件数	金額																																
R 元	17 件	4 件	200 千円																																
H30	19 件	7 件	350 千円																																
年 度	償還 金額	償還 完了 件数	年度末貸付残																																
			件数	金額																															
R 元	317 千円	9 件	14 件	492 千円																															
H30	485 千円	11 件	19 件	609 千円																															

事業名	事業計画(概要)	実施状況													
		③ 生活福祉資金貸付調査委員会・たすけあい更生資金貸付運営委員会の開催 第1回 平成31年4月26日													
(2) 権利擁護と福祉サービスの利用支援															
権利擁護関係	【予算】5,360千円 ① 成年後見制度法人後見事業 (自主事業) 認知症や精神障がい、知的障がいなど判断能力が不十分なために意思決定が困難な人の権利を守るため財産管理や身上監護の実施。	【決算】3,970千円 ① 成年後見制度法人後見事業 ア 保佐1件(継続) 被保佐人との面接による状況確認(月1回) 保佐事務報告書 令和元年9月26日提出 イ 後見1件(新規受任) 令和元年10月29日 後見開始の審判事件 後見事務報告書 令和元年12月13日提出 ウ 成年後見制度法人後見事業運営委員会開催 (ア) 第1回 令和元年9月19日(木) 内 容 委員長・副委員長の選任について 保佐事務に関する報告について 報酬付与の申立てについて 参加者 委員5名 欠席1名 事務局2名 (イ) 第2回 令和2年3月25日(水) 内 容 法人後見業務(後見)について 法人後見事業生活支援員の委嘱について 参加者 委員5名 欠席1名 事務局2名													
	② 釜石・遠野地域成年後見センター開設・運営への協力	② 釜石・遠野地域成年後見センター遠野サテライト 4月から専任の職員1名を配置し、センター開所に向け3か月間準備を行った。7月1日に釜石社協が釜石・遠野地域成年後見センターを開所し、遠野サテライトも同時に業務を開始した。 ア 相談対応件数(延べ)単位:件 <table><tr><td></td><td>令和元年度</td></tr><tr><td>電 話</td><td>2</td></tr><tr><td>来 所</td><td>4</td></tr><tr><td>訪 問</td><td>2</td></tr><tr><td>関係機関等</td><td>11</td></tr><tr><td>その他</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>19</td></tr></table> イ 相談内容 成年後見制度について 6件 財産管理について 4件		令和元年度	電 話	2	来 所	4	訪 問	2	関係機関等	11	その他	0	計
	令和元年度														
電 話	2														
来 所	4														
訪 問	2														
関係機関等	11														
その他	0														
計	19														

事業名	事業計画(概要)	実施状況																		
		心身の状況について 2 件 福祉サービスについて 1 件 家族・親族関係について 2 件 相続について 1 件 その他 3 件 ウ 相談経路 本人 3 件 親族 5 件 地域包括支援センター 3 件 社会福祉協議会 2 件 その他 1 件 エ 普及啓発活動 センターチラシの配布 (市内全戸、遠野市民生委員児童員協議会、行政、福祉関係機関、医療機関、司法機関) オ 成年後見セミナーの開催 令和元年 11 月 8 日 場所：釜石情報交流センターチームスマイル釜石 PIT カ 出前講座の実施 (ア) 令和元年 7 月 9 日(遠野市自立支援協議会) (イ) 令和元年 9 月 5 日(綾織地区民児協) キ 関係機関との連携など (ア) NPO 法人カシオペア権利擁護支援センターの視察 (令和元年 8 月 8 日) (イ) 運営協議会の開催 2 回 (ウ) ネットワーク会議の開催 2 回																		
	③ 日常生活自立支援事業 (釜石基幹社協への協力) 判断能力に不安を持つ方が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的金銭管理などの支援	③ 日常生活自立支援事業 (釜石基幹社協への協力) ア 支援員の配置 3 名 イ 新規相談件数 5 件 (認知症高齢者 4 件, 知的障がい者 1 件) 新規契約件数 5 件 (認知症高齢者 4 件, 知的障がい者 1 件) 廃止件数 6 件 (認知症高齢者 6 件) [契約状況] <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">契約者数</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><th>障 害</th><th>高 齢</th></tr><tr><td>R 元</td><td>13 人</td><td>3 人</td><td>10 人</td></tr><tr><td>H30</td><td>14 人</td><td>3 人</td><td>11 人</td></tr><tr><td>H29</td><td>11 人</td><td>3 人</td><td>8 人</td></tr></table>	年度	契約者数	内 訳		障 害	高 齢	R 元	13 人	3 人	10 人	H30	14 人	3 人	11 人	H29	11 人	3 人	8 人
年度	契約者数	内 訳																		
		障 害	高 齢																	
R 元	13 人	3 人	10 人																	
H30	14 人	3 人	11 人																	
H29	11 人	3 人	8 人																	

事業名	事業計画(概要)	実施状況								
	④ 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業	④ 岩手県からの委託を受け「障がい者不利益取扱い相談窓口」を設置運営 相談実績 0件								
(3) 民生児童委員との連携										
民生児童委員活動との連携	① 地域福祉の推進のため民生委員と連携を強化する。	① 地域福祉の推進のため民生委員と連携 ア 会長・副会長連絡会に参加し情報共有を図った。 イ 地区担当職員が地区民協定例会に参加し情報共有に努めた。 ウ 広域社協事業として「第2回ふれあい福祉のつどい」に共催し研修を行った。								
(4) 災害支援と防災への取組み										
東日本大震災被災者支援 (県社協受託)	東日本大震災生活支援事業 (岩手県社協受託事業) 【予算】3,979千円 被災者の自立に向けた相談支援活動の継続。	東日本大震災生活支援事業 【決算】3,685千円 ① 生活支援相談員1名を配置。9月30日絆サポートセンター閉所後、3月31日まで社協事務局を拠点に支援を継続した。 ② 地域相談員と連携しながら住民支え合いマップを作成し、地域支援を実施した。 ③ 市内在住の被災者が復興公営住宅に落ち着いたことにより本年度で事業受託は終了とするが、引き続き社協全体で地域住民や必要な機関と連携した見守り支援を継続する。								
指定避難所の運営	遠野市との協定に基づき、要請があった場合は指定福祉施設を開設	台風19号(10月12日)の接近により、遠野市の要請を受けふれあいホーム薬研淵に福祉避難所を開設。 【避難者数】 <table><tr><td></td><td>人数</td></tr><tr><td>要介護高齢者</td><td>3名</td></tr><tr><td>介護者</td><td>2名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>5名</td></tr></table> ふれあいホーム薬研淵職員9名、事務局職員3名で対応した。		人数	要介護高齢者	3名	介護者	2名	合 計	5名
	人数									
要介護高齢者	3名									
介護者	2名									
合 計	5名									
災害ボランティア活動の推進	災害時に迅速に対応できる体制強化と、大規模災害発災に備えた広域での連携体制の確立。	① 災害ボランティアセンター運営に必要な物品・機材リストの点検を行った。 ② 県内外の社協ボランティアセンターとの連携 ア 台風19号関連(釜石災害ボランティアセンター) (ア) 運営支援のため職員を派遣した 支援期間 10月21日～11月5日 実日数 10日間(花巻社協と交代) 派遣職員 延べ17名(実7名) (イ) 市民に災害ボランティア協力を呼びかけ参加の支援を行った								

事業名	事業計画(概要)	実施状況											
		期 間 10月25日～10月31日 参加延べ 45名(市職員、社協、保育協会、遠野TV、遠野高校、学生) イ 災害ボランティアセンターのあり方検討等 (ア) 内部検討会の実施 期 日 令和元年12月3日 参加職員 5名(釜石への派遣職員) 内 容 釜石災害ボラセンの振り返り等 (イ) 台風19号の振り返り会議(県社協主催) 期 日 令和2年1月15日 参加者 地域福祉課長 内 容 県内社協職員による台風19号支援活動の振り返りと災間における備えについて等 (ウ) 研修会への参加(会場：盛岡アイーナ) 期 日 令和2年2月12日～13日 参加者 災害時対応初動チーム職員2名 内 容 三者連携に向けた災害時における初動対応について等											
(5) 福祉課題の調査研究													
農福連携の調査研究	農業と福祉の関係者が連携し、個々の役割を見出し協力しながらお互いの理解を深める。地域共生社会「福祉でとおのづくり」の推進。 ① 就労としての可能性を調査検証 ② 交流や生きがいつくりの効果検証 ③ 収穫物の加工販売の可能性の研究。	昨年に引き続き「ふれあい農園」を通して、子どもから高齢者、障がいを持つ方々が農作業を通してふれあい、交流することが出来た。 地域の高齢者が農作業やほうきづくりなど得意なことを生かし、生きがいつくりにもつながった。 ① 就労体験の場の拡大 ア 無料職業紹介事業(最低賃金確保) 求人農家 2か所 就労実績 延べ4人 ② ふれあい農園の継続 ア 民児協地域福祉部会等と連携してふれあい農園作業を実施(ジャガイモ収穫) イ 福祉バザーでの販売・試食 (益金は赤い羽根共同募金へ寄付) ③ 「マイほうきづくり講座」の実施 ア 実施日12月12日 受講者4名 19日 受講者6名											
日常生活用具貸与事業	【予算】200千円 ① 日常生活用具の貸与 ア チャイルドシートの貸出 (貸出期間10日以内：無料) イ 車椅子貸出 (貸出期間10日以内：無料) ※実施状況を検証し事業の見直しを検討	【決算】25千円 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年度</th><th>ア</th><th>イ</th></tr> <tr> <th>チャイルドシート</th><th>車いす</th></tr> <tr> <td>元</td><td>140件</td><td>42件</td></tr> <tr> <td>30</td><td>84件</td><td>36件</td></tr> </table> チャイルドシート 利用実人員61名 うち、複数回利用世帯25世帯	年度	ア	イ	チャイルドシート	車いす	元	140件	42件	30	84件	36件
年度	ア	イ											
	チャイルドシート	車いす											
元	140件	42件											
30	84件	36件											

2-2 市民の福祉活動の振興

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況
(1) ボランティア活動の推進と拠点の充実		
ボランティア活動の推進	① ボランティア活動センターの運営 【予算】5,707千円 地域の支え合い活動を推進するため、地域相談員等と連携しボランティアニーズの把握やマッチング、福祉教育や必要とされるボランティア育成等を行う。	① ボランティア活動センター 【決算】5,115千円 ボランティアに関する相談マッチングを行ったが、多くは施設のイベントや慰問に関する調整依頼で、地域の支え合い活動を推進するためのニーズ把握やボランティア育成が課題。
ボランティア活動の推進	ア 福祉教育（ボランティア体験塾・キャップハンディ体験の実施） <	

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況												
	エ ボランティア連絡協議会の運営支援	エ ボランティア連絡協議会の運営支援として、事務局会計などの事務補助や助成金案内を行った。												
	オ ボランティア個人・団体の活動支援	オ ボランティア個人・団体への支援 （ア） 各種助成等の周知と申請支援 長澤基金助成決定 3 団体 助成金総額 200,000 円 （イ） ボランティア保険の加入促進												
		<table><tr><td>年度</td><td>基本プラン</td><td>天災プラン</td><td>行事用保険</td></tr><tr><td>元</td><td>873 件</td><td>8 件</td><td>30 団体 (延べ)</td></tr><tr><td>30</td><td>905 件</td><td>16 件</td><td>27 団体 (延べ)</td></tr></table>	年度	基本プラン	天災プラン	行事用保険	元	873 件	8 件	30 団体 (延べ)	30	905 件	16 件	27 団体 (延べ)
	年度	基本プラン	天災プラン	行事用保険										
元	873 件	8 件	30 団体 (延べ)											
30	905 件	16 件	27 団体 (延べ)											
	② 市民交流サロン「ちょボラ」の運営 ア 会議室・展示コーナー・事務機器の貸出（通年） 交流サロンとしての活用（通年）	② 市民交流サロン「ちょボラ」の運営 ア 会議室、展示コーナー、事務機器〔貸出実績〕												
	イ 若者フリースペースの実施 (週 1 回)	イ 若者フリースペース 毎週月曜日（祝日を除く）10 時～12 時 月の最終週の月曜日は 13 時～15 時 全 43 回 延べ 149 名参加												
	ウ コミュニティ食堂（月 1 回）	ウ コミュニティ食堂 調理ボランティアの協力により毎月 1 回（長期休み等には臨時）開催した。子どもから高齢者まで低額で食事を提供することで、気軽に立ち寄り食事をしながら交流する場になった。 合計 13 回 参加者（ボラ含）延べ 330 名												
(2) 情報発信の強化														
福祉だより・HP 等による情報発信	【予算】1,550 千円 市民の理解と住民参加の福祉を進めるため、地域情報や福祉事業等の積極的な発信。	【決算】1,518 千円 ① 福祉だよりの発行 年 6 回、特別号（8 月）計画通りに発行した。 ② ホームページの管理運営（随時） 福祉だよりの発行等に合わせたホームページを更新し福祉の話題提供を行った。 2 月中旬にホームページに海外サイトのコンピュータウイルスが侵入し、一時的に閉鎖している。ホームページ全体を再構築する必要があるため次年度の 6 月末までにはアップする。												

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況												
（３）高齢者福祉の向上														
在宅介護支援センター運営事業 （市受託事業）	在宅介護支援センター小友・綾織、附馬牛・土淵、上郷・青笹の 3 ヶ所に各 1 名の相談員の配置。	地域包括支援センターを中心に、関係機関との連携を図りながら、地域における介護に関する総合的な相談や高齢者の実態把握等するとともに、各地区のサロン等へ参加し、講話や各種啓発活動を実施した。 また、丸ごと相談員とも連携し、高齢者を含めた総合的な相談対応を行った。 ○在宅介護支援センター小友・綾織 <table><tr><td>ケース台帳整備数</td><td>542 件</td></tr><tr><td>実態把握調査</td><td>230 件</td></tr></table> ○在宅介護支援センター附馬牛・土淵 <table><tr><td>ケース台帳整備数</td><td>588 件</td></tr><tr><td>実態把握調査</td><td>204 件</td></tr></table> ○在宅介護支援センター上郷・青笹 <table><tr><td>ケース台帳整備数</td><td>550 件</td></tr><tr><td>実態把握調査</td><td>200 件</td></tr></table>	ケース台帳整備数	542 件	実態把握調査	230 件	ケース台帳整備数	588 件	実態把握調査	204 件	ケース台帳整備数	550 件	実態把握調査	200 件
ケース台帳整備数	542 件													
実態把握調査	230 件													
ケース台帳整備数	588 件													
実態把握調査	204 件													
ケース台帳整備数	550 件													
実態把握調査	200 件													
生活支援コーディネーター事業 （市受託事業）	各在宅介護支援センターにコーディネーターを配置。（兼務） 高齢者の生活支援等サービスの体制を推進。	支え合いマップ作りや地域福祉懇談会、地域ケア会議等で地域課題の抽出や共有を図った。 また、サロンの開設支援、認知症サポーター養成研修（小中高生徒対象）、町単位のまちづくり等に取り組んだ。												
生きがい活動支援通所事業 （市受託事業）	自立高齢者に対し、高齢者の生きがい参加と社会参加を促進し、社会的孤立感の解消、自立支援の助長及び要支援や要介護状態への予防。	60 歳以上の自立高齢者に対し、生きがいと社会参加を促進し社会的孤立の解消、自立生活の助長及び要支援や要介護状態になることの予防を図ることを目的に実施した。 市内コミュニティセンター等の計 23 会場で開催した。 延利用者件数 5,160 名（30 年度 5,573 名）												
高齢者等の生活支援事業 （市受託事業・自主事業）	① 配食サービス事業	① 配食サービス事業 調理・宅配ボランティアグループ「ほのぼの会」、東北電力「げんき会」、個人ボランティアの協力により事業を実施した。 また、2/27 以降は活動前の検温、マスク着用の協力を頂いた。 <table><tr><td colspan="2">ア「食」の自立支援事業【市受託事業】</td><td colspan="2">イ 在宅支援食事サービス事業【自主事業】</td></tr><tr><td>元年度配食数（延べ）</td><td>3,153 食</td><td>元年度配食数（延べ）</td><td>1,003 食</td></tr><tr><td>30 年度配食数（延べ）</td><td>3,526 食</td><td>30 年度配食数（延べ）</td><td>1,288 食</td></tr></table>	ア「食」の自立支援事業【市受託事業】		イ 在宅支援食事サービス事業【自主事業】		元年度配食数（延べ）	3,153 食	元年度配食数（延べ）	1,003 食	30 年度配食数（延べ）	3,526 食	30 年度配食数（延べ）	1,288 食
ア「食」の自立支援事業【市受託事業】		イ 在宅支援食事サービス事業【自主事業】												
元年度配食数（延べ）	3,153 食	元年度配食数（延べ）	1,003 食											
30 年度配食数（延べ）	3,526 食	30 年度配食数（延べ）	1,288 食											

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況																												
高齢者等の生活 支援事業 （市受託事業・自主事業）	② 福祉有償運送事業	② 福祉有償運送事業 歩行等が困難で一般交通機関を利用する方を対象に、リフト付きワゴン車等台（普通乗用車 2 台、軽乗用車 1 台）を使用し、運転手 4 名で対応した。 <table><tr><td colspan="2">ア 外出支援サービス事業 【市受託事業】</td><td colspan="2">イ 移送サービス事業 【自主事業】</td></tr><tr><td>元年度利用 延べ人数</td><td>475 名</td><td>元年度利用 延べ人数</td><td>860 名</td></tr><tr><td>（市内対応）</td><td>475 名</td><td>（市内対応）</td><td>723 名</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>（市外対応）</td><td>137 名</td></tr><tr><td>30 年度利用 延べ人数</td><td>559 名</td><td>30 年度利 用延べ人数</td><td>715 名</td></tr><tr><td>（市内対応）</td><td>559 名</td><td>（市内対応）</td><td>582 名</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>（市外対応）</td><td>133 名</td></tr></table>	ア 外出支援サービス事業 【市受託事業】		イ 移送サービス事業 【自主事業】		元年度利用 延べ人数	475 名	元年度利用 延べ人数	860 名	（市内対応）	475 名	（市内対応）	723 名			（市外対応）	137 名	30 年度利用 延べ人数	559 名	30 年度利 用延べ人数	715 名	（市内対応）	559 名	（市内対応）	582 名			（市外対応）	133 名
ア 外出支援サービス事業 【市受託事業】		イ 移送サービス事業 【自主事業】																												
元年度利用 延べ人数	475 名	元年度利用 延べ人数	860 名																											
（市内対応）	475 名	（市内対応）	723 名																											
		（市外対応）	137 名																											
30 年度利用 延べ人数	559 名	30 年度利 用延べ人数	715 名																											
（市内対応）	559 名	（市内対応）	582 名																											
		（市外対応）	133 名																											
家族介護者支援 対策事業	① 家族介護者教室開催事業（市受託） ② 家族介護者交流事業（市受託）	① 家族介護者教室開催事業 ア 権利擁護セミナー（市合同開催） 日時：令和 2 年 2 月 20 日 参加者：165 名 イ 口腔ケアについて（市内 3 町） 新型コロナウイルス感染症のため中止 ② 家族介護者交流事業 日時：3 月 6 日 内容：三陸鉄道で行く気仙沼温泉等日帰りの旅 参加予定：16 名 新型コロナウイルス感染症のため中止																												
ふれあい・いき いきサロン支援助 成事業（市補助・ 共同募金配分事 業）	〔活動助成〕 【予算】 2,750 千円 〔送迎支援〕 【予算】 660 千円 ① ふれあい・いきいきサロンの支援	〔活動助成〕 【決算】 2,410 千円 〔送迎支援〕 【決算】 534 千円 ① ふれあい・いきいきサロンの支援 市内各地域において身近な地域での交流を通じた高齢者の閉じこもり防止や、生きがいづくりなどを支援した。 ア サロン運営活動費助成 (1)助成団体 29 団体 (2)助成総額 2,300,000 円 (3)活動実績 (単位：人) <table><tr><td>参加者数</td><td>ボランティア数</td><td>合計</td></tr><tr><td>6,009</td><td>2,428</td><td>8,437</td></tr></table> イ 利用者送迎支援（遠野、綾織、土淵、青笹の 4 支部） 延べ 112 回 ウ 笛吹の園へ調理員の派遣 エ 希望サロンに運動指導員（施設管理サービスより）派遣 実績 25 回	参加者数	ボランティア数	合計	6,009	2,428	8,437																						
参加者数	ボランティア数	合計																												
6,009	2,428	8,437																												

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況																																										
		オ 各町に配置されている生活支援コーディネーター（在宅介護支援センター相談員） ネーターや社協支部と連携し、新規サロン立ち上げの相談支援を行なった。 (1)新規立ち上げ相談 1件(小友町) (2)活動開始 1件(小友町)																																										
（４）障がい者福祉の充実																																												
障がい者福祉の充実	① 遠野市地域活動支援センター「カムカム」の運営 【予算】9,342千円 利用者のプログラム活動支援や生産活動などを通して自立の促進や生活の質の向上を図る	① 地域活動支援センター「カムカム」の運営 【決算】9,275千円 利用実績 開所日数 307日 <table border="1"> <tr> <th></th><th>元年度</th><th>30年度</th></tr> <tr> <td>登録者数</td><td>32名</td><td>33名</td></tr> <tr> <td>利用人数 (延べ)</td><td> 登録者 1,805名 未登録者 138名 総数 1,943名 </td><td> 1,766名 284名 2050名 </td></tr> </table> [活動内容] <table border="1"> <tr> <th></th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr> <tr> <td>ア プログラム活動 (昼食会、運動、茶話会等)</td><td>91</td><td>延べ 346名</td></tr> <tr> <td>イ 地域交流 (地域の祭り、緑峰祭、石上祭、六角祭等)</td><td>5</td><td>延べ 59名</td></tr> <tr> <td>ウ 季節行事 (花見、七夕、小正月、節分、魚釣り、芸術祭等)</td><td>9</td><td>延べ 72名</td></tr> <tr> <td>エ 生産活動 農作業（クルミむき等） 食品加工（ドレッシング作業等） 喫茶業務（福祉バザー、ワンディシェフ等）</td><td> 6回 6回 </td><td> 延べ47名 延べ </td></tr> <tr> <td>オ 学習プログラム (各種研修大会参加等)</td><td>2</td><td>延べ 6名</td></tr> <tr> <td>カ その他 (手芸、趣味活動等)</td><td>17</td><td>延べ 66名</td></tr> </table> キ 喫茶カムカム実績 <table border="1"> <tr> <th></th><th>元年度</th><th>30年度</th></tr> <tr> <td>利用者数</td><td>4,752名</td><td>5,480名</td></tr> <tr> <td>売上金額 (営業日数)</td><td>1,720,780円 (284日)</td><td>1,864,430円 (290日)</td></tr> <tr> <td>ワン デイ シェ フ</td><td> 売上 142,950円 メンバー参加数 15名 </td><td> 458,650円 39名 </td></tr> </table>		元年度	30年度	登録者数	32名	33名	利用人数 (延べ)	登録者 1,805名 未登録者 138名 総数 1,943名	1,766名 284名 2050名		回数	参加者数	ア プログラム活動 (昼食会、運動、茶話会等)	91	延べ 346名	イ 地域交流 (地域の祭り、緑峰祭、石上祭、六角祭等)	5	延べ 59名	ウ 季節行事 (花見、七夕、小正月、節分、魚釣り、芸術祭等)	9	延べ 72名	エ 生産活動 農作業（クルミむき等） 食品加工（ドレッシング作業等） 喫茶業務（福祉バザー、ワンディシェフ等）	6回 6回	延べ47名 延べ	オ 学習プログラム (各種研修大会参加等)	2	延べ 6名	カ その他 (手芸、趣味活動等)	17	延べ 66名		元年度	30年度	利用者数	4,752名	5,480名	売上金額 (営業日数)	1,720,780円 (284日)	1,864,430円 (290日)	ワン デイ シェ フ	売上 142,950円 メンバー参加数 15名	458,650円 39名
	元年度	30年度																																										
登録者数	32名	33名																																										
利用人数 (延べ)	登録者 1,805名 未登録者 138名 総数 1,943名	1,766名 284名 2050名																																										
	回数	参加者数																																										
ア プログラム活動 (昼食会、運動、茶話会等)	91	延べ 346名																																										
イ 地域交流 (地域の祭り、緑峰祭、石上祭、六角祭等)	5	延べ 59名																																										
ウ 季節行事 (花見、七夕、小正月、節分、魚釣り、芸術祭等)	9	延べ 72名																																										
エ 生産活動 農作業（クルミむき等） 食品加工（ドレッシング作業等） 喫茶業務（福祉バザー、ワンディシェフ等）	6回 6回	延べ47名 延べ																																										
オ 学習プログラム (各種研修大会参加等)	2	延べ 6名																																										
カ その他 (手芸、趣味活動等)	17	延べ 66名																																										
	元年度	30年度																																										
利用者数	4,752名	5,480名																																										
売上金額 (営業日数)	1,720,780円 (284日)	1,864,430円 (290日)																																										
ワン デイ シェ フ	売上 142,950円 メンバー参加数 15名	458,650円 39名																																										

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況																				
在宅障がい者交流事業（自主事業）	② 在宅障がい者交流事業（自主事業） 【予算】200 千円 障がいのある人もない人も共に体験や交流することで、障がい者一人ひとりの自立を支援するとともに個性を認め合い、障がいに對する理解の向上	② 障がい者の社会参加や交流促進を目的とした行事を企画し実施した。【決算】137 千円																				
		〔実施状況〕																				
		<table><tr><td></td><td>開催日</td><td>場所</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>日帰り旅行</td><td>8/31</td><td>三 陸 鉄 道、鯨と海の科学館</td><td>29 名</td></tr><tr><td>クリスマス会</td><td>12/14</td><td>総合福祉センター</td><td>18 名</td></tr><tr><td>成人を祝う会</td><td>1/13</td><td>総合福祉センター</td><td>60 名</td></tr><tr><td colspan="3">参加者合計</td><td>107 名</td></tr></table>		開催日	場所	参加者数	日帰り旅行	8/31	三 陸 鉄 道、鯨と海の科学館	29 名	クリスマス会	12/14	総合福祉センター	18 名	成人を祝う会	1/13	総合福祉センター	60 名	参加者合計			107 名
			開催日	場所	参加者数																	
		日帰り旅行	8/31	三 陸 鉄 道、鯨と海の科学館	29 名																	
		クリスマス会	12/14	総合福祉センター	18 名																	
		成人を祝う会	1/13	総合福祉センター	60 名																	
		参加者合計			107 名																	
		日帰り旅行では、事前に参加者それぞれに役割分担を明確にしたことにより、当日は積極的な参加交流が出来た。																				
		「成人を祝う会」は2名の新成人を迎えてお祝いをした。若者フリースペース「ふらっと」のメンバーがボランティアとして参加。多くの人の出会いや交流の場となった。																				
〔乗馬交流参加実績〕																						
<table><tr><td>6/30</td><td>7/14</td><td>9/1</td><td>9/8</td><td>11/17</td><td>計</td></tr><tr><td>8 名</td><td>9 名</td><td>中止</td><td>11 名</td><td>5 名</td><td>33 名</td></tr></table>			6/30	7/14	9/1	9/8	11/17	計	8 名	9 名	中止	11 名	5 名	33 名								
6/30	7/14	9/1	9/8	11/17	計																	
8 名	9 名	中止	11 名	5 名	33 名																	
・遠野馬の里のボランティア 延べ17名																						
全5回の計画したが、日程の都合により1回中止となった。「遠野馬の里」と「馬の里スポーツ少年団」の協力により実施することができた。遠野ならではの資源を活用し乗馬にチャレンジすることにより、リフレッシュの機会となった。																						

Ⅲ 在宅福祉事業

3-1 高齢者支援と高齢者を支える人づくり

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況
（１）認知症地域支援事業 =新規=		
認知症地域支援事業	「認知症になっても自由に安心して外出できる町に」を目指す。 ① 「隣組単位」での認知症の理解推進 ② SOSネットワーク検索模擬訓練	① 生活支援コーディネーター主導で、隣組単位のケア会議を開催。認知症を高齢者を抱える２町２世帯で実施。ご近所の「認知症へ理解」と「見守りの“目”の拡充」を図った。 ② SOSネットワークの構成団体として、健康福祉の里の依頼を受け、４回検索活動に協力した。 事務局内及び法人組織の緊急連絡網を整備した。 予定した模擬訓練は開催できず、次年度への開催を目指す。
（２）奨学金返済助成事業 =新規=		
奨学金返済助成事業	新卒者の雇用促進、現所属職員の離職防止 ※遠野市奨学金返済支援制度の2/3の額とする。（144,000円）	対象職員 6名（予定） 令和２年度に 670 千円の予算措置を図った。 助成内容 ・助成率 1/2（年間総返済額） ・助成上限 96,000 円／一人 ・助成期間 最大 5 年
（３）口腔ケアプロジェクト =継続=		
口腔ケア推進プロジェクト	口腔ケアの取り組みの継続。	２年目の取り組み。 通所介護事業所では日々の食前の口腔体操、食後の徹底ケア、自宅でのケア促進の成果が表れ、歯科衛生士による口腔ケア指導を終了したケースが多くあった。 また訪問介護等では継続して、啓発運動に取り組み、口腔ケアの重要性を周知した。
（４）人材確保・人材育成		
新卒者の確保	① 各種学校訪問 ② ホームページ活用による情報発信 ③ 福祉の仕事（社協）の魅力発信	① 各種学校訪問 地元高等学校を訪問し、情報共有及びPR活動を実施 ② ホームページ活用による情報発信 PR動画をホームページから発信。再生回数 270 回を超えた。 ③ 福祉の仕事の魅力発信 福祉だよりで市内で活躍する若手職員をバトンリレー方式で連載。 また中高生を対象とした各種ガイドンスで社協の仕事を広くPRした。

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況
人材育成	① 管理職育成等	新たに管理職を登用、採用。またキャリアのある職員を主任へ登用した。 管理職員へは全国社協開催の法人会計研修へ参加させたほか、職業訓練校開催のキャリアアップ研修を受講。 また準職員から正職員へ 2 名の登用を行った。
職員研修の充実	① 職員研修計画に基づき、職員研修を実施し資質向上を図る。 ② 資格取得バックアップ 介護福祉士、社会福祉士、社会福祉主事、介護実務者研修、介護支援専門員等資格取得の奨励。 介護支援専門員については、受験対策講座を開催する。	① 年度末に予定した研修が、新型コロナウイルスの影響で中止。 ② 介護支援専門員受験対策講座を開催。全国模擬試験を実施した。 また、各種資格取得者に受講しやすいシフト調整と費用のバックアップを実施した。 ※資格取得者 ・精神保健福祉士 1 名 ・介護福祉士 2 名 ・社会福祉主事資格 3 名 ・介護支援専門員 1 名 ・介護職員初任者研修 1 名 ・実務者研修 4 名
働き方改革の推進	① 年次有給休暇の確実な取得	予めシフトに組み込むなど、計画的な取得に取り組んだ。 年 5 日取得達成率 95.4%

3-2 介護保険事業の基盤の強化

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況
(1) 介護保険事業の経営基盤強化の取組み		
介護保険事業所の収支の適正化	① 安定経営 各拠点毎、単年度黒字を目指す。 介護報酬改定に対応した新たな加算の取得、又は取得の模索。	① 安定経営 ア 居宅事業 人材が不足した事業所にケアマネジャー有資格者を配置し、前年度並みの市内全体の 4 割を超えるプラン作成を行った。 居宅とおの、居宅上郷については、前年度並みの報酬を維持できたが、居宅宮守については人員減少に伴い予防プランの受託件数を制限したため、報酬が減少した。 イ 訪問介護事業、訪問入浴事業 利用者数は約 1,600 名減少。報酬については総合事業が減収した。 限られた人材で市内全域をカバーしているため、その都度人員を補充しながら対応してきたが、結果として、収支の均衡が図られなかった。 訪問入浴は利用者減少に伴い、営業日数を週 3 日に短縮し対応した。

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況																		
		ウ 訪問看護事業（リハビリ含む） 市内全体の 6 割以上を対応。看護師の不足が生じたが、事業所間の調整で対応。リハビリスタッフも 1 名減となったが、待機者なく対応した。 エ 通所介護事業 全体で収益が 19,549 千円減収。利用者数は全体で延 1,900 人の減小。特に薬研淵、上郷が減少した。総合事業利用者は増加したが、10 月の単価改正の影響で 3,001 千円の減収となった。 オ 短期入所事業 平均介護度は前年度より高くなったが、延利用者数は約 400 名減少した。春、秋の農繁期や冬季間の需要の高い期間の利用減少が影響した。 ② 経費削減の継続 公用車について、拠点内での供用を促進し 81 台から 71 台へ削減した。 ③ 障がい福祉サービスの継続 共生型サービスを目指し通所介護事業所 4 ヶ所、訪問介護事業所の障害サービス提供の継続。 ④医療保険サービス 訪問看護ステーションでの医療保険サービスの提供の継続。																		
		② 経費削減の継続 公用車について、拠点内での供用を促進し 81 台から 71 台へ削減した。 ③ 障がい福祉サービス ア 実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所</th><th>利用者数 (延べ)</th><th>収入額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふれあい 薬研淵</td><td>175 人</td><td>1,270 千円</td></tr> <tr> <td>訪問介護</td><td>1,043 人</td><td>3,873 千円</td></tr> <tr> <td>訪問入浴 介護</td><td>102 人</td><td>1,275 千円</td></tr> </tbody> </table> ※その他の事業所は実績なし。 ④ 医療保険サービス ア 実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所</th><th>利用者数 (延べ)</th><th>収入額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護</td><td>567 人</td><td>6,012 千円</td></tr> </tbody> </table>	事業所	利用者数 (延べ)	収入額	ふれあい 薬研淵	175 人	1,270 千円	訪問介護	1,043 人	3,873 千円	訪問入浴 介護	102 人	1,275 千円	事業所	利用者数 (延べ)	収入額	訪問看護	567 人	6,012 千円
事業所	利用者数 (延べ)	収入額																		
ふれあい 薬研淵	175 人	1,270 千円																		
訪問介護	1,043 人	3,873 千円																		
訪問入浴 介護	102 人	1,275 千円																		
事業所	利用者数 (延べ)	収入額																		
訪問看護	567 人	6,012 千円																		
(2) 介護保険事業の活動基盤等強化の取組み																				
組織体制の強化、介護職員の処遇改善	① 専門職種の確保・配置	① 専門職種の配置 年度当初 11 事業所体制（居宅 3、訪問介護 1、訪問入浴 1、訪問看護 1、通所介護 5、短期入所 1）で事業を展開。																		

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況
	② 介護職員の処遇改善	配置基準を厳守する為、兼務体制で対応した。 職員不足については、中途採用も含め確保に努めた。 また、各種就職ガイダンスへの参加し、社協の仕事をより分かりやすく紹介するとともに求人を行った。 ② 介護職員の処遇改善 ア 処遇改善加算の取得 「介護職員処遇改善加算Ⅰ」を継続取得。総額 24,538 千円取得し、職員の処遇改善を図った。 ※参考：平成 30 年度取得額 26,482 千円 イ 特定処遇改善加算の取得 11 月より「介護職員等特定処遇改善加算」を新たに取得。総額 2,478 千円取得し、職員の処遇改善を図った。 エ 腰痛予防対策 昨年度に引き続き、腰痛ベルトの追加支給を行った。（6 名） オ 年次有給休暇取得の促進 計画的に年次有給休暇を取得させ、5 日以上（年間）の取得に努めた。 カ 職員研修会の開催 （ア） 内容：「処遇改善～働きやすい環境を目指して～」 日時：4 月 23 日（火） 4 月 26 日（金） 参加：131 名 （イ） 内容：「特定処遇改善加算ほか」 日時：9 月 2 日（月）～10 日（火） 7 カ所で開催 参加：139 名 （ウ） 内容：「住み慣れた地域で生きていく」 日時：11 月 16 日（土） 講師：ふじ内科クリニック 内藤いづみ医師 参加：70 名 （エ） 内容：「交通安全講習会」

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況
		日時：12月10日（火） 講師：遠野警察署交通安全課長 菅原和郎 氏 参加：113名 （オ）内容：「救命救急講習会」 日時：1月21日（火） 2月21日（金） 3月10日（火） 3月13日（金） 講師：遠野消防署職員 参加：59名 ほか、外部研修参加および事業所内研修を随時開催。 また、専門職種については、専門研修に随時参加し復命にて情報共有を図った。
サービス利用者懇談会	利用者及び家族、地域住民より意見を伺い事業に反映する。	年度末に予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため中止。
岩手中部地域医療情報ネットワークシステム	「いわて中部ネット」への加入。	居宅事業所3事業所、訪問看護ステーションで加入。 I C Tを活用し情報を一元的に見ることで、切れ目のない医療・介護の情報連携の推進を図った。
施設整備の修繕・更新等	指定管理施設の修繕・更新5ヵ年の計画に沿って実施	指定管理施設の修繕・更新 ア ふれあいホーム薬研淵 ・入浴昇降リフト更新 5,187千円（遠野市対応） ・浴室サーモスタット混合水栓 315千円 イ ふれあいホーム小友 ・間仕切りカーテンの設置 184千円 ・塩素注入ポンプ更新 259千円 ウ ふれあいホーム附馬牛 ・貯湯槽補給水減圧弁交換 159千円 ・洗面台自動水栓 238千円 ・業務用冷蔵庫更新 297千円 エ ふれあいホーム上郷 ・消防用設備部品交換 103千円 ・変電設備修繕 410千円 ・屋内天井材修繕 88千円
社協カレンダー配布	年度カレンダーの配布	800部作成。介護保険サービス利用者を中心に配布。利便性を高めた。

事業名	事業計画（概要）	実 施 状 況				
低所得者利用 料軽減支援	市が認定した低所得者を対象として介護報酬事故負担金 10%から 5.5%に軽減。	遠野市が低所得者と認定した者に対して、自己負担金の軽減を実施。				
		介護報酬の自己負担金の利用料を 10%から 5.5%に軽減し、その差額は社協が 1.3%負担し、遠野市が 3.2%負担。				
		年 度	人 数	減免額	社協負 担金	遠野市負 担金
		元	64	2,335,304 円	674,912 円	1,660,392 円
		30	95	2,970,755 円	861,933 円	2,108,822 円

3-3 介護保険事業所関係

事業名	計画（概要）		実施状況	
(1) 居宅介護支援事業所				
居宅介護支援事業所とおの	目標収入額（年間）		収入額（年間）	
	介護保険	29,760 千円	介護保険	32,862 千円
	介護予防	1,620 千円	介護予防	1,937 千円
	目標給付件数（月平均）		給付件数（月平均）	
	介護保険	146 件	介護保険	153 件
	介護予防	35 件	介護予防	33 件
	【経営目標】		【経営目標】	
	・ 特定事業所加算Ⅰの継続取得。地域包括支援センターとの連携。		・ 特定事業所加算Ⅰの継続取得実施。地域包括支援センターとの定期的なケース検討会実施やケースの受け入れ相談に随時対応。	
	・ 関係機関との連携を図り、入退院の支援調整の適切な対応。		・ 医療機関等と入退院の相談対応実施。	
	・ 一人当たりの担当件数、介護 30 件、総合事業 7 件（管理者：介護 26 件、総合事業 7 件）。		・ 担当件数は、要介護（特にも重度者）の相談を重点的に対応できるように、要支援の受け入れは調整して対応。	
【処遇目標】		【処遇目標】		
・ 利用者・家族の意向を尊重し、個別に合わせた支援。		・ 相談には、随時対応し、利用者、家族の望む暮らしの支援を調整した。		
・ 他法人とも定期的に研修やケース検討会を行い、地域全体のケアマネジメントの向上を図る。		・ 他法人とも共同して、研修会やケース検討会を実施し、資質向上に努めた。		
・ 地域課題等を把握し、地域ケア会議や関係機関へ情報提供する。		・ ケース検討会等を通じて、関係機関と課題の情報共有をした。		
居宅介護支援事業所上郷	目標収入額（年間）		収入額（年間）	
	介護保険	26,260 千円	介護保険	26,012 千円
	介護予防	1,500 千円	介護予防	2,018 千円
	目標給付件数（月平均）		給付件数（月平均）	
	介護保険	121 件	介護保険	119 件
	介護予防	33 件	介護予防	36 件
	【経営目標】		【経営目標】	

事業名	計画（概要）	実施状況																								
	・ 特定事業所加算Ⅱ継続取得 ・ 目標件数、目標金額の達成 ・ 積極的な新規の受け入れ 【処遇目標】 ・ わかりやすい説明 ・ 地域、医療との連携強化。 ・ 相談援助技術の向上、研修の積極的な参加。	・ 特定事業所加算Ⅱの継続取得ができた。 ・ 平均給付件数は 118.8 件、収入は 248 千円減で目標に達しなかった。要介護度の軽度化が減収の原因。 ・ 要介護、要支援の新規契約数は月平均 5.7 人を受け入れた。 【処遇目標】 ・ 専門用語を使わず説明するように心がけて対応した。 ・ 地域の問題共有や支援について関わりを持ち対応した。医療連携では主治医と連携し、看取り対応も行った ・ 地域ケア会議や研修等でファシリテーターの経験を積むことができた。																								
居宅介護支援事業所宮守	<table><tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>16,947 千円</td></tr><tr><td>介護予防</td><td>1,272 千円</td></tr><tr><td colspan="2">目標給付件数（月平均）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>87 件</td></tr><tr><td>介護予防</td><td>28 件</td></tr></table> 【経営目標】 ・ 特定事業所加算Ⅲの継続取得 ・ 医療との連携、状態に応じたサービス提供の調整。 【処遇目標】 ・ 終末期、不安なく過ごせるよう、相談支援の対応。 ・ 自宅で安心して過ごせるよう、関係機関と連携。 ・ 不足しているサービス、資源開発の働きかけ。	目標収入額（年間）		介護保険	16,947 千円	介護予防	1,272 千円	目標給付件数（月平均）		介護保険	87 件	介護予防	28 件	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>17,868 千円</td></tr><tr><td>介護予防</td><td>963 千円</td></tr><tr><td colspan="2">給付件数（月平均）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>87 件</td></tr><tr><td>介護予防</td><td>17 件</td></tr></table> 【経営目標】 ・ 特定事業所加算Ⅲを継続取得した。 ・ 主治医と連携し、入退院時の連携に努めた。 ・ 受託している予防の件数を包括支援センターと調整し、要介護者の新規の受け入れ体制を整えた。 【処遇目標】 ・ 主治医と連携し、看取りの支援を行った。 ・ 保険外サービスについて関係機関と連携し、不足サービスを補う工夫をした。	収入額（年間）		介護保険	17,868 千円	介護予防	963 千円	給付件数（月平均）		介護保険	87 件	介護予防	17 件
目標収入額（年間）																										
介護保険	16,947 千円																									
介護予防	1,272 千円																									
目標給付件数（月平均）																										
介護保険	87 件																									
介護予防	28 件																									
収入額（年間）																										
介護保険	17,868 千円																									
介護予防	963 千円																									
給付件数（月平均）																										
介護保険	87 件																									
介護予防	17 件																									

事業名	計画（概要）	実施状況
（２）訪問介護事業所		
ヘルパーステーション薬研淵	①訪問介護	①訪問介護
	目標収入額（年間）	収入額（年間）
	介護保険 41,000 千円	介護保険 39,224 千円
	総合事業 7,888 千円	総合事業 6,238 千円
	自立支援 5,000 千円	自立支援 3,600 千円
	延利用者数（年間）	延利用者数（年間）
	介護保険 11,500 人	介護保険 9,626 人
	総合事業 2,300 人	総合事業 2,005 人
	自立支援 2,000 人	自立支援 1,403 人
	【経営目標】	【経営目標】
	・新規利用者の積極的な受入れ。	・職員確保ができず、新規の受入れを一時中止した。以降、新規の相談等が減少した。
	・制度改革に的確に対処。人員配置基準の見直しや加算の積極的な取得。	・特定処遇加算を取得した。
	・安定した事業収益の確保。	・総合事業単価改正で出来高報酬に改正となり減収となった。
	【処遇目標】	【処遇目標】
	・早期の状態変化の発見と情報共有。	・著変時書面による情報提供を実施した。
	・業務の理解と専門性の向上	・内部研修を計画的に実施した。また、定期的に業務内容の確認を行っている。
	・介護技術の向上と安全な技術提供。	・新規利用者の介助法は随時確認し、職員間で共有している。
	・処遇を正し、守秘義務の徹底。	
	②訪問入浴	②訪問入浴
	目標収入額（年間）	収入額（年間）
	介護保険 8,400 千円	介護保険 5,806 千円
	自立支援 1,870 千円	自立支援 1,275 千円
	延利用者数（年間）	延利用者数（年間）
	介護保険 720 人	介護保険 422 人
	自立支援 168 人	自立支援 102 人
	【経営目標】	【経営目標】
	・新規利用者の積極的な受入れ。	・空き情報を提供し獲得に努めた。
	・目標値の達成。	・利用者の減収により目標値の達成はできなかった。
	【処遇目標】	【処遇目標】
	・安心、安全なサービス提供。	・利用者の情報収集を行い、素早い対応で、安全に気持ちよく入浴してもらうよう心掛けサービス提供した。
	・重度利用者にも対応した質の高いサービス提供の徹底。	

事業名	計画（概要）	実施状況
（３）訪問看護事業所		
訪問看護ステーションとおの	①看護	① 看護
	目標収入額（年間）	収入額（年間）
	介護保険 19,797 千円	介護保険 12,349 千円
	医療保険 3,412 千円	医療保険 3,258 千円
	延利用者数（年間）	延利用者数（年間）
	介護保険 4,784 人	介護保険 1,523 人
	医療保険 623 人	医療保険 295 人
	②リハビリ	② リハビリ
	目標収入額（年間）	収入額（年間）
	介護保険 18,369 千円	介護保険 19,929 千円
	医療保険 3,665 千円	医療保険 2,754 千円
	延利用者数（年間）	延利用者数（年間）
	介護保険 3,235 人	介護保険 3,101 人
	医療保険 375 人	医療保険 272 人
	【経営目標】	【経営目標】
	・看護師、リハビリともに職員体制を充実。	・在宅で看取りたい等の相談、依頼は増えてきたが、実質３人の看護師体制では対応できないケースもあった。
	・研修に参加し、スキルアップを図り、多様なニーズに対応。	・リハビリは１名減の体制。当初の目標達成した利用者にも定期的な訪問を行い状態確認を行った。
	【処遇目標】	研修については東北作業療法士学会へ参加し、新しい情報を収集している。
	・医師、事業者間との連携に努め、状態の変化に早期に気づき判断し、迅速に対応。	【処遇目標】
	・サービス内容の均一化、安心・安全なケア提供。	・利用者の状態変化時には、主治医や病院看護師等へ状態報告をし、情報の共有に努めた。
	・一人ひとりが健康・体調管理に努め、計画的に休暇取得（スタッフ）	・外部への研修参加の機会は少なかったが病院での手技指導を受け、復命で情報共有を行った。またインターネット、書籍などを活用し、習得を心掛けた。
		・看護師２名がインフルエンザに罹患するなど自らの体調管理に課題があった。
（４）通所介護事業所		
ふれあいホーム薬研淵	目標収入額（年間）	収入額（年間）
	介護保険 106,613 千円	介護保険 97,077 千円
	自立支援 1,322 千円	自立支援 1,340 千円
	延利用者数（年間）	延利用者数（年間）
	介護保険 12,320 人	介護保険 10,951 人
	自立支援 180 人	自立支援 175 人
	【経営目標】	【経営目標】
	・全職員による個別機能訓練の取り組み。	・個別機能訓練は専門職の配置により、個々の状況に応じた訓練メニューで実施した。また全職員に「生活リハビリ」を意識させ、利用者自身で行える動作
	・口腔機能向上に向けた取り組みの継続。	

事業名	計画（概要）	実施状況																
	・臨時利用や希望回数への柔軟な対応。 ・次期報酬改正への早期取組み。（研修参加等） 【処遇目標】 ・個々の尊重とプライバシー保護に努めた「心配り、気配り、目配り」の実践。 ・担当ケアマネや家族との密な情報交換。 ・季節感と彩ある食事提供。 ・気持ちの良い挨拶。安心できる送迎対応。	を意識しながら支援した。 ・昼食後の口腔ケアの実践に加え、昼食前の口腔体操は、多彩な内容で実施した。 ・ショート利用が増加し利用数が伸び悩んだ。また、職員不足により新規利用を断るケースもあった。 ・次期報酬改正に向けた研修会に参加し、情報の収集、共有を図った。 【処遇目標】 ・観察力を身に着ける工夫をし、利用者の尊重とプライバシー保護に努めたが、一部「慣れ」による言葉遣いの乱暴さが認められたことは課題となった。 ・相談員を中心に綿密な情報交換を行い、緊急時にも円滑な連絡調整ができた。 ・嗜好について毎日聞き取りを行い、彩を考えた食事を提供した。 ・利用者への挨拶、職員間の挨拶は徹底した。また、年間を通じて送迎中の事故もなく安全に送迎を行った。																
ふれあいホーム小友	<table><tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>54,963 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>6,810 人</td></tr></table> 【経営目標】 ・新規利用者、臨時利用者の積極的な受け入れ。 ・地域行事への積極的な参加、地域住民が求めている課題を探る。 ・研修会への参加、職員のスキルアップ。 【処遇目標】 ・安心、安全な送迎と車両事故ゼロを目指す。 ・個々に合わせたレク活動の提供。 ・季節感ある施設の雰囲気作り、色彩のある食事提供。 ・全職員が資格取得を目指す。	目標収入額（年間）		介護保険	54,963 千円	延利用者数（年間）		介護保険	6,810 人	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>53,985 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>6,614 人</td></tr></table> 【経営目標】 ・新規受け入れ 31 件（年間）、臨時利用についても積極的に受け入れた。 ・地域行事へは積極的に参加した。 ・職員の不足により、全員が外部研修会へ参加できなかった。 【処遇目標】 ・車両事故もなく、安心安全な送迎サービスを実施した。 ・全体で楽しむレク活動や個別に行う作品作りなど、工夫したサービス提供を行った。 ・地域から寄せられた作品を作ったり、利用者が作成した壁壁画等を掲示し、雰囲気作りを行った。また、その季節に合わせた食事を提供することが出来た。 ・職員 3 名が資格を取得した（介護支援専門員 1 名、介護福祉士 1 名、社会福祉主事 1 名）	収入額（年間）		介護保険	53,985 千円	延利用者数（年間）		介護保険	6,614 人
目標収入額（年間）																		
介護保険	54,963 千円																	
延利用者数（年間）																		
介護保険	6,810 人																	
収入額（年間）																		
介護保険	53,985 千円																	
延利用者数（年間）																		
介護保険	6,614 人																	

事業名	計画（概要）	実施状況																
ふれあいホーム附馬牛	<table><tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>43,317 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>5,160 人</td></tr></table> 【経営目標】 ・介護度の軽度化に備え、新規利用者の開拓と獲得。 ・職員の資質向上。顧客満足度の向上。 ・事故、ヒヤリハットの解消。 【処遇目標】 ・利用者の個性を尊重し、快い言葉遣いによるサービスの提供。 ・季節感のある美味しい食事の提供。 ・看護師と連携しての体調管理の徹底。 ・安心、安全な送迎と入浴の提供。	目標収入額（年間）		介護保険	43,317 千円	延利用者数（年間）		介護保険	5,160 人	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>40,035 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>5,078 人</td></tr></table> 【経営目標】 ・新規利用者の積極的な受け入れを行ったが、延利用者数は目標に達しなかった。 ・外部研修へ積極的に参加し、事業所内で情報共有を行った。 ・職員間の情報共有やコミュニケーションを円滑にすることで、事故を未然に防ぐことが出来た。 【処遇目標】 ・利用者の意向を職員間で把握し、また丁寧な接遇を心掛けた。 ・旬の食材を取り入れる等、工夫をすることが出来た。 ・職員間の連携を取り、体調の変化を早期に発見することが出来た。 ・ゆとりを持ち、安心、安全に送迎、入浴の提供が行えた。	収入額（年間）		介護保険	40,035 千円	延利用者数（年間）		介護保険	5,078 人
	目標収入額（年間）																	
介護保険	43,317 千円																	
延利用者数（年間）																		
介護保険	5,160 人																	
収入額（年間）																		
介護保険	40,035 千円																	
延利用者数（年間）																		
介護保険	5,078 人																	
ふれあいホーム上郷	<table><tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>93,967 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>11,145 人</td></tr></table> 【経営目標】 ・臨時利用者の細やかな受け入れ調整。ケアマネ関係機関との密な連携、情報交換。 ・職員体制を整え加算取得を目指す。 ・研修機会を確保し、自己研鑽や資格取得に繋げる。 【処遇目標】 ・常に利用者の安全を心がける対応。 ・楽しく過ごしていただくため、笑顔で思いやりのある対応。 ・交通事故、介護事故ヒヤリハットの縮減を目指し、互いに声掛けできる環境を作る。 ・地域交流を継続し、ニーズの把握や問題の抽出を図る。	目標収入額（年間）		介護保険	93,967 千円	延利用者数（年間）		介護保険	11,145 人	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>82,525 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>10,032 人</td></tr></table> 【経営目標】 ・ケアマネ等と連携し積極的な受け入れを目指したが、利用者数は大きく減少した。 ・加算取得は職員体制が整わず運動器機能訓練加算、個別機能訓練加算が算定できない期間があった。 ・職員全員が研修に行くことはできなかったが、主要な研修には参加出来た。 【処遇目標】 ・朝礼で注意事項の読み上げ、意識付けを行った。 ・職員の接遇について指摘を頂き、改善に向けて取り組んだ。 ・車両の物損事故が発生した。その都度、職員会議にて再発防止策について話し合いを行った。 ・中学生や団体の慰問受入れを継続した。（3月以降は新型コロナウイルス対応で自粛）	収入額（年間）		介護保険	82,525 千円	延利用者数（年間）		介護保険	10,032 人
	目標収入額（年間）																	
介護保険	93,967 千円																	
延利用者数（年間）																		
介護保険	11,145 人																	
収入額（年間）																		
介護保険	82,525 千円																	
延利用者数（年間）																		
介護保険	10,032 人																	

事業名	計画（概要）	実施状況																												
（５）短期入所生活介護事業所																														
ショートステイ上郷	<table><tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>71,357 千円</td></tr><tr><td>特定入所費</td><td>21,950 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延利用者数等（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>6,710 人</td></tr><tr><td>1 日平均</td><td>18.3 人</td></tr><tr><td>稼働率</td><td>91.5%</td></tr></table>	目標収入額（年間）		介護保険	71,357 千円	特定入所費	21,950 千円	延利用者数等（年間）		介護保険	6,710 人	1 日平均	18.3 人	稼働率	91.5%	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>83,889 千円</td></tr><tr><td>特定入所費</td><td>3,348 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延利用者数等（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>6,275 人</td></tr><tr><td>1 日平均</td><td>17.2 人</td></tr><tr><td>稼働率</td><td>85.9%</td></tr></table>	収入額（年間）		介護保険	83,889 千円	特定入所費	3,348 千円	延利用者数等（年間）		介護保険	6,275 人	1 日平均	17.2 人	稼働率	85.9%
	目標収入額（年間）																													
	介護保険	71,357 千円																												
	特定入所費	21,950 千円																												
	延利用者数等（年間）																													
	介護保険	6,710 人																												
	1 日平均	18.3 人																												
	稼働率	91.5%																												
	収入額（年間）																													
	介護保険	83,889 千円																												
	特定入所費	3,348 千円																												
	延利用者数等（年間）																													
	介護保険	6,275 人																												
	1 日平均	17.2 人																												
	稼働率	85.9%																												
	【経営目標】 ・稼働率 80%を維持。 ・新規利用者の積極的な受け入れ。 ・キャンセル発生時のロスを最小限にとどめる対応。	【経営目標】 ・稼働率は目標を達成。 ・新規利用者については断ることなく対応した。 ・キャンセル発生後の空室調整が上手くいかなかった。また 2 月後半からは、コロナウイルスの影響で予測しないキャンセルが多く発生した。																												
	【処遇目標】 ・利用者への丁寧な対応。 ・利用者、家族より信頼を得る対応。 ・事故をひきおこさない利用者へ対応。	【処遇目標】 ・職員接遇には十分配慮してきたが、一部不適切な言葉使い等が見られた為、改善を徹底した。 ・ご家族から感謝の言葉を頂き、職員の士気向上に繋がることが出来た。 ・リスクマネジメントは十分配慮してきたが、夜間に個室での転倒が多く、センサーマット等を活用したが、瞬時の対応が出来なかった。																												

共同募金事業関係

1 概 要

民間社会福祉事業の一翼を担う活動として市民のたすけあいによる募金の推進と地域福祉の充実を進め、誰もが住みなれた地域で安心して生活することができる地域社会を構築するため、多くの市民の皆さまや関係機関のご協力をいただき実施しました。

また、市内福祉団体への助成業務と、歳末たすけあい募金における支援を必要とする市民に対し激励金の配分を実施しました。

その他、「赤い羽根アクションプランいわて」の基本方針に基づき、募金運動を実施しました。

2 令和元年度赤い羽根共同募金運動の結果について

募金目標額 7,450,000 円（前年度 7,441,000 円）

募金実績額 7,185,960 円（前年度 7,376,084 円）

目標達成率 96.46%（前年度 99.13%）

【募金内訳】

区 分	令和元年度		平成 30 年度	
(1)戸 別 募 金	7,767 件	3,886,000 円	7,881 件	3,942,200 円
(2)大 口 募 金	760 件	1,586,000 円	792 件	1,665,500 円
小計 (支部募金合計)	8,527 件	5,472,000 円	8,673 件	5,607,700 円
(3)法 人 募 金	182 社	944,000 円	176 社	914,000 円
(4)街 頭 募 金	8 件	72,951 円	4 件	51,650 円
(5)学 校 募 金	12 校	205,326 円	16 校	237,324 円
(6)職 域 募 金	18 件	151,626 円	23 件	138,531 円
(7)興 行 募 金	11 件	154,644 円	10 件	168,683 円
(8)個人・団体募金	0 件	0 円	3 件	61,000 円
(9)そ の 他	22 件	185,408 円	30 件	197,188 円
小計 (事務局受付分)	253 件	1,713,955 円	262 件	1,768,376 円
(10)預 金 利 息	2 件	5 円	2 件	8 円
合 計	8,782 件	7,185,960 円	8,937 件	7,376,084 円

総 括

赤い羽根共同募金運動は、10 月 1 日から 12 月 31 日までの 3 ヶ月間行われ、市民の方々の募金協力をはじめ、行政区長、班長、民生児童委員、地区センター等の多大な協力をいただきました。

今年度も「赤い羽根アクションプラン」を受け、目標額を前年度実績より 1%増の 7,450 千円としましたが目標額には達しませんでした。

法人募金・街頭募金で実績を拡大しましたが、個別募金・大口募金において協力世帯の減少が実績減の要因と考えられます。

3 令和元年度歳末たすけあい運動の結果について

募金目標額 2,790,000 円（前年度 2,897,000 円）

募金実績額 2,671,972 円（前年度 2,761,766 円）

目標達成率 95.77%（前年度 95.33 %）

【募金内訳】

区 分	令和元年度		平成 30 年度	
(1) 戸 別 募 金	8,489 件	2,550,605 円	8,605 件	2,585,800 円
(2) その他の募金	4 件	45,000 円	7 件	102,000 円
(3) 歳末演芸祭募金	1 件	76,367 円	1 件	73,966 円
(4) 預 金 利 息	0 件	0 円	0 件	0 円
合 計	8,494 件	2,671,972 円	8,613 件	2,761,766 円

※ 一般募金および地域歳末たすけあい募金収納中に生じた預貯金利息は、一般募金の実績に含めることとなっています。

配分実績額 1,000,000 円

【配分内訳】

区 分	令和元年度		平成 30 年度	
(1)生活困窮世帯	50 件	250,000 円	48 件	240,000 円
(2)一人暮らし高齢者	40 件	200,000 円	44 件	220,000 円
(3)高齢者夫婦世帯	6 件	30,000 円	6 件	30,000 円
(4)母子・父子世帯	31 件	155,000 円	39 件	195,000 円
(5)遺児世帯	0 件	0 円	0 件	0 円
(6)里親世帯	1 件	5,000 円	1 件	5,000 円
(7)要介護者世帯	68 件	340,000 円	81 件	405,000 円
(8)災害被災世帯	4 件	20,000 円	1 件	5,000 円
合 計	200 件	1,000,000 円	220 件	1,100,000 円

配分剰余金 1,671,972 円（＝2,671,972 円－1,000,000 円）

総 括

歳末たすけあい募金運動は 12 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 ヶ月間行われ、赤い羽根共同募金運動と同様に市民の皆様の募金協力をはじめ、行政区長、班長、民生児童委員、地区センター等の協力をいただき募金活動、激励金の配分を実施しました。

歳末たすけあい募金運動においても、目標額を前年度実績より 1%増の 2,790 千円としましたが、目標額には達しませんでした。

募金額の減少の要因は協力いただく戸別世帯の減少（前年比 116 世帯減）であったことと考えられます。

激励金配分については、対象者の減少により、前年度と比較して 20 件 100,000 円の減となりました。

4 令和元年度募金実績による配分（令和 2 年度事業として受配）（単位：千円）

受 配 団 体	遠野市社会福祉協議会
共同募金受配額	6, 9 8 1 千円

5 平成 30 年度募金実績による令和元年度地域福祉活動事業 (単位：千円)

受 配 団 体		遠野市社会福祉協議会	
共同募金受配額		7, 1 0 2 千円	
共同募金配分金事業内容			
地域福祉活動事業費	社 協 事 業	1 . 福祉バザー開催事業	119
		2 . 心配ごと相談所運営事業	188
		3 . 広報・調査活動事業	719
		4 . ボランティア活動拠点支援事業	1,766
		5 . 一人暮らし高齢者交流会	632
		6 . ふれあいいきいきサロン事業	1,440
		7 . ふれあいホーム利用者送迎支援事業	535
		8 . 障がい者等福祉団体助成	205
		9 . こどもまつり助成事業	50
		10. 民生児童委員活動助成	442
		11. 支部社協活動助成事業	1,006
合		計	7,102